

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

## 《学校課題研究を柱とした学力向上策の推進》

「生徒の教育的ニーズに対応した指導法の工夫と学級経営の改善」をテーマに、「真の学力」育成のための取組として、学校課題研究を中心とした学力向上策を推進する。

## ＜本年度の学力向上策＞

## 1 生徒の教育的ニーズに対応した指導の研究

生徒に寄り添い一人ひとりに応じた適切な指導についての研究に継続して取り組み、それぞれの学びを大切にしながら、誰もが「できる、わかる、」喜びを感じ、学習への意欲を高めることのできる授業づくり・学級づくりをより一層進める。

- ① これまでの取組の成果を生かし、生徒の特性に応じた指導法の深化・充実を図る。
- ② すべての生徒にとってわかりやすい授業づくりや、教材の在り方の研究、生徒がともに分かちあい高めあう学習集団の育成を目指した学級経営の工夫・改善等をさらに進める。

## 2 ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくり

各学年の実態に合わせた目標を設定し、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくりに継続して取り組んでいく。

- ① 授業のねらいの焦点化を図るための工夫を各教科の特性を踏まえながら進める。
- ② 中学校段階での個別の支援の場の在り方についての研究に取り組み、その成果を学力向上に役立てる。

## 3 学力向上ポートフォリオの活用

学校と保護者の連携をさらに進めることを通して家庭学習の充実を図っていく。具体的方策の一つとして、学力向上ポートフォリオ(生徒版)の活用を通して、生徒の学習状況に対する家庭の認識を深め、一人ひとりに応じた適切な指導・支援を充実させる。

## ＜本年度の振り返り＞

## ○ 学力向上策1・2について

令和元年度学校評価の生徒アンケートにおける、指導や授業に関連した項目に対する質問への肯定的評価の平均は89%と高かった。また、同様の質問に対する保護者アンケートの回答においても、肯定的評価が85%であった。さらに、教職員による学校評価における、学校課題研究や校内研修に対する肯定的評価の平均も97%と高評価であった。以上のことから、学校全体で取り組んだ、生徒の教育的ニーズに対応した指導やユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくりの研究は、生徒の学習意欲の向上に役立ったと考えている。来年度は、キャリア教育の研究発表を全教科・領域において関連付けて取り組み、指導方法等の改善を図りながら、生徒のさらなる学習意欲向上を図っていききたい。

## ○ 学力向上策3について

学力向上ポートフォリオに対する教職員や保護者の理解を深めるための具体策を検討した上で実施し、より一層の有効活用を図り、生徒の意識向上につなげていく。

